

## 第 1 回伊賀市消防委員会・審議結果報告書

### 開催日時

令和元年 11 月 21 日(木) 午前 10 時 00 分～10 時 50 分

### 開催場所

消防本部 3 階・第 2 研修室

### 出席

(委員 11 名) 住民自治協議会代表 奥澤重久・西中 敏・上林良畝・番條克治・橋本康郎、元消防団長 今岡久人、教育行政評価委員 加納圭子、防災会議委員 菊山順子、消防団長 奥 伸也、副市長 大森秀俊、消防長 中森宏悟

(市側 9 名) 吉川消防次長(総務)、奥消防次長(警防)、中森消防総務課長、山下予防課長、林消防救急課長、藤川東消防署長、山寄南消防署長、消防総務課 北嶋・松田

### 欠席

(委員 4 名) 住民自治協議会代表 大野明美、元消防長 山中治紀、伊賀医師会会長 猪木達、伊賀市防火協会会長 堀川一成

### 傍聴

なし

## 1 開会

(事務局)

失礼いたします。

本日は委員の皆様には公私とも大変お忙しい中、ご出席いただき厚くお礼申し上げます。

ただいまから令和元年度第 1 回伊賀市消防委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます消防総務課の北嶋と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日、15 名の委員様のうち伊賀医師会会長の猪木様、防火協会会長の堀川様、消防経験者の山中様の 3 名の欠席のほか、12 名の方にご出席いただいております。

なお、大野委員様につきましては、少し遅れているようでございます。

今年度は委員の改選時期であり、市長から委嘱状をお渡しするのが本来ですが、本日市長が所要につき出席できませんので、委嘱状を卓上の封筒に入れさせていただきます。

ご理解いただきますようお願いいたします。

また、年度当初に委員就任のご承諾を頂いた後、すぐにお渡しをさせていただくべきところですが、大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

ではまず委員会を始めさせていただく前に、資料の確認をさせていただきます。

事項書、資料1～4、資料5-1・5-2・5-3の8種類でございます。不足等ございましたらお申し出ください。

それではお手元の事項書に基づきまして、委員会を進めさせていただきます。

なお、本委員会は会議録の作成が義務付けられておりますので、録音についてご了承いただきますようお願いいたします。

## 2 あいさつ

〔事務局〕

では事項書2番、市当局を代表いたしまして、大森副市長からごあいさつを申し上げます。

〔副市長〕

改めまして、みなさん、おはようございます。

委員の皆様方には消防行政はじめ市政全般に渡りまして、格別のご理解ご協力をいただいておりますことをまずもって感謝申し上げます。

さて皆様ご存知とは思いますが、伊賀市消防団女性消防隊が、先週の13日に横浜市で開催されました、第24回全国女性消防操法大会に県を代表して出場し、見事に優秀賞、4位でございますが、獲得できました。また選手1名が優秀選手賞を受賞しました。大変名誉なことでありまして、選手をはじめ、消防団の皆様、関係者の格別のご理解、ご努力が実ったものと思います。委員の皆様には、今後とも消防団はじめ伊賀市の消防行政にご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて本日は事項書にありますように、消防本部再編計画について等をご審議いただく予定です。

平成19年に青山地区再編に伴い1本部3課3署5分署体制となっておりますが、市の行財政状況や今後の人口減少社会を見据え、持続可能な常備消防体制のあり方を検討するため、消防だけでなく、市の部局も入り「伊賀市消防本部組織検討委員会」を設置し、長期的な視野で、消防行政サービスを維持・継続するための計画を策定し、中間案として本日お示しをしたいと思います。

つきまして、委員の皆様から活発なご意見をいただきますようお願い申し上げます。

頭の挨拶とさせていただきます。

〔事務局〕

ありがとうございました。

### 3 消防委員の紹介

〔事務局〕

続きまして事項書3番、本日出席の委員様のご紹介をさせていただきますので、資料1をご覧ください。お名前をお呼びさせていただきます。

奥澤委員様・西中委員様・上林委員様・番條委員様・橋本委員様・今岡委員様・加納委員様、菊山委員様、消防団長の奥委員様、副市長の大森委員・消防長の中森委員であります。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして消防部局の自己紹介をさせていただきます。

#### 【消防次長から順次自己紹介】

ありがとうございました。

それから事務局の消防総務課 北嶋と松田でございます。よろしく願いいたします。

### 4 伊賀市消防委員会条例について

〔事務局〕

続きまして事項書4番、伊賀市消防委員会条例につきまして、中森消防総務課長から説明させていただきます。資料2をご覧ください。

#### 【中森課長説明】

### 5 委員長・副委員長の選出について

〔事務局〕

続きまして事項書5番、委員長・副委員長の選出についてでございますが、伊賀市消防委員会条例第6条第1項の規定に、委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によってこれを定めるとありますので、委員長、副委員長を互選により選出していただきたいと思っております。資料3をご覧ください。

選出方法につきましてどのように取扱えばよろしいでしょうか。

〔奥澤委員〕

事務局案で考えていることがあれば提示してください。

[事務局]

ありがとうございます。事務局案があればというご発言がありました。事務局からご提案申し上げご承認をいただくことと致したいと存じますが、ご意見を賜りたいと存じます。

<異議なしの声>

[事務局]

ありがとうございます。では事務局案といたしまして、委員長には今岡委員様、副委員長には本日欠席ではございますが、事前にご承諾を得てございますので引き続き堀川委員様にご就任いただきたいと思いますと思いますが、これにご異議ございませんか。

<異議なしの声>

[事務局]

ありがとうございます。それでは委員長を今岡委員様、副委員長を堀川委員様にお願いさせていただきます。

今岡様、席のご異動をお願いいたします。

では、委員長にご就任のご挨拶いただきたいと思います。存じます。

[委員長]

まずもって、先ほど副市長さんが言われましたように、横浜の全国女性消防操法大会で大変優秀な成績を上げられましたこと、誠におめでとうでございます。応援していただきました市民の皆さん、また指導していただきました職団員の皆さんに衷心より御礼申し上げます。ご苦労様でございました。

さて、大変僭越でございますが、消防委員長という重責を仰せつかりました。前任の福森委員様のような立派な方の後を継がせていただくのは、誠に心苦しいわけでございますが、伊賀市の消防行政のために少しでも力になればと、一所懸命務めていく所存でございますので、委員の皆様どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

<拍手>

## 6 報告事項

[委員長]

それではこれより進行の方をさせていただきます。

事項書の第6番でございます。報告事項の消防行政の現況について、事務局より説明いたします。

[事務局]

その前に本日、現在のところ4名の方が欠席されておりますが、伊賀市消防委員会条例の概要説明で申し上げましたとおり、本条例第7条第2項の規定により、委員定数の半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

また本条例第7条の規定によりまして会議の議長は委員長が行うこととなっておりますので、委員長に議事の進行をお願いさせていただくものです。

【資料4に基づき、消防総務課長説明】

〔委員長〕

ありがとうございました。消防行政の現況について、ご説明をいただきました。

現況についてのご質疑・ご質問を頂戴したいと存じます。意見がございます方は挙手願います。

大変重要な項目でございますので、よろしいですか？

## 7 審議事項

〔委員長〕

それでは無いようですので、次の審議事項であります伊賀市消防本部組織再編計画について説明をお願いします。

【資料5に基づき、消防総務課長説明】

〔委員長〕

ありがとうございました。ただいま消防本部組織再編計画について、ご説明をいただきました。

この件に関しまして、ご質疑・ご質問等ございましたら、ご発言願いたいと思います。

〔奥澤委員〕

2点だけ意見・質問をさせていただきます。

指揮隊の創設ということですので、新設をするということですが、計画をぼちぼちされているかと思うので、まとまった時点で委員会への説明をしていただくということを是非ともしていただきたい。

それから、非常に高度な通信指令の関係で、統合型位置情報通知装置というのはGPSで発信しているところの位置を分かるということですか？これは家の電話でも携帯でもそこで発信したらそこが特定できて、そこへ直接行けるということによろしいですか？

〔消防総務課長〕

2つ目の統合型位置情報通知装置の件ですが、仰っていただきましたとおり家庭の加入電

話につきましても、それぞれの事業者の加入者情報から住所が分かるというものです。また、携帯電話はGPSの機能によりましてその位置が分かる、またGPSの情報が取れない場合は、基地局からの測定によりまして大体の位置が分かるというふうになっております。

〔委員長〕

ありがとうございました。他に何か？

〔消防総務課長〕

先ほどお問い合わせいただきました指揮隊のことについて、ちょっと補足をさせていただきます。資料5-3の5ページの中に警防1課・2課のところが一番下にございますが、この下に指揮調査係というのがございます。ページを移りまして6ページのところにその内容を記載させていただいております。

## 8 その他

〔委員長〕

ありがとうございました。では他に無いようでございますので、事務局さんその他の項をお願いいたします。

〔事務局〕

事務局から2点連絡がございます。

1点目が、後日あらためて文書でご案内させていただきますが、伊賀市消防出初式を令和2年1月12日（日）午前9：00からゆめドームうえので開催いたします。ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

2点目が、本日の会議に伴う旅費等の関係で、担当の者から説明させていただきたい事項がございますので、委嘱をさせていただいた委員様につきましては大変申し訳ありませんが会議終了後、もうしばらくこの場にお残りいただきますようお願い申し上げます。

事務局からは以上です。

〔委員長〕

ありがとうございました。一応議事は終わったんですけど、全部を通して何かご質問等があればお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

〔橋本委員〕

私、青山地区の住民自治協からお邪魔させてもらってるんですけども、消防団さんの状況でございますが、大変災害が大規模化している中で、消防並びに消防団の活動に依存する頻度が非常に大きくなってきておってですね、お世話をかけなければならないんですけども、

肝心の消防団員さんの確保がですね、非常に難儀しておるといいますか、私たまたま山間部に住んでおるんですけども、ほとんど若い者がおらない。こういう現況をですな、形はスムーズに来てるんですけども、現実の消防団ちゅうのは結局住んでおらないがために、団員となるべき対象者が団地に住んでおると。有事があつたら呼び戻して無理あくたに走っておると。こんな現状の中でですな、形だけで実際になったらどんな活動になるんかということを目頃から非常に懸念をしておるわけなんですけども、そんな形の現状を踏まえた中でですな、消防団活動ということにつきましても、従来型の訓練訓練というような形の出動体制よりもですな、もっと地元にいる者が自分で対応できるような体制に切り替えていってですな、団員不足と言いますか、成り手のない消防団・消防体制をカバーしていけるというような方向は、是非ご検討いただければなということは常日頃から思わせてもらってますので、ご意見として述べさせていただきます。

〔団長〕

消防団の団長をさせていただきます奥と申します。2年前に消防団も適正化計画というのを作成いたしましたして、2年前からそれに基づいて活動させていただいております。今までは消防団員が1,510人おったんですけども、1,424名ということで正団員を落としまして、地元におられる方、消防団のOBの方とか失礼ですけど元気なお年寄りとか、そういう方に地元で支援団員になっていただいて、まず初動の初期消火とかを補完していただくような形で、地元の方の支援団員さんを増やしてお願いしている状況でございます。とりあえずは今そういう形で進んでおりまして、どうしても若い消防団員は地元におらない所が多いです。でもまあしっかりと地元へ戻って活動するようになっておりますが、そのとおりに皆一生懸命頑張っておりますので、地元の自治会長さん達には大変お世話になるんですけど、支援団員さんの確保にもご協力いただきまして、消防団員や消防職員によりまして使い方の指導とかを今まで以上に進めていきたいと思っておりますので、その辺でご理解願いたいと思っております。

〔委員長〕

ありがとうございます。因みに私も消防団長を辞めてから6年経過したんですけど、今でも支援団員という形でこの千五百何名かの中に入っております。支援団員ってほんとに普段の仕事に何にも差し支えありませんし、何かが起こった時に隣近所の気分で助けに行くと。もちろん大きな災害の時はそのままずっとそこにいるんですけど、普通の災害の場合は団員さんや職員さんが来たら帰らせていただくというような形で、非常に自分でも地域のためになるのかなと自負しておりますので、是非その辺のところをご協力よろしくお願ひしたいと思います。

〔橋本委員〕

もちろん支援団員さんの体制といいますか、地元にいる者が活動せんことには有事の時に対応できないというのは十二分に認識もしてますんですけど、現行の消防団の体制がですな、非常にいびつな形と言いますか、名前だけの団員であるとかですな、そんな状況にあるということも認識をしていただいてですな、例えば各地区というんじゃなしに広域的な一つの団として応援体制がスムーズにできるというような組織的な再編ですな、その辺のこともお考えいただくなり、それからまた現行の団員さんも忙しい中でパレードや訓練と、訓練も大事なんですけども、予防活動のために出動回数が非常に多いと言いますか、私も昔若い時は消防団をやらせてもらってたんですけども、そのころと比べると息子が入ってるんですけども、また消防かというぐらいに団員としての活動・出動が非常に多いというふうな状況の中でですな、そんなことは十二分に認識してると思いますが、それよりも装備の充実であるとかですな、活動しやすい広域体制であるとかですな、その辺ももっと柔軟に時代の背景に合ったようなですな、従来型ではない、何せ高齢化して少子化していく私共のような村落部が非常に増えてきておる訳ですので、もっと柔軟に現場の状況に合ったような対応をですな、是非真剣にご検討いただかんとですな、逆に消防の負担がかなんで村を出ていくと、住まないという状況になってきておるので、そういうことでは当然今の体制でいけばますますそれに拍車がかかってくるという危機感を持っておりますので、是非その辺を真剣にご検討いただければなというふうにお願いをしておきまして、終わらせていただきます。

〔委員長〕

貴重な意見大変ありがとうございました。他に？

〔上林委員〕

消防の可搬式のポンプ庫ですけども、今は再編で各区にまたがって班を編成しております。そこで今まで単独の区で使ってた消防ポンプの倉庫を今仲間で使ってる訳ですけども、再編する前に再編するときには新しいのを建てるという話でしたんですけども、それが全然実行されておりませんので、そこらも一つ話しを聞かせて欲しいと思います。

〔消防救急課長〕

失礼します。消防救急課の林でございます。今のお話なんですけども、実はずうの課の方に複数の箇所からそのようなご依頼ご要望が数年前からいただいているということも私も把握しております、来年度の予算を今検討しているところなんですけども、その辺を十分踏まえましてですね、本当はいっぺんに全部いきたいんですけど、ご存知のようにそれがなかなか難しいもんでですね、ですが来年度はそれを前に出してですね、予算要望はさせてい



ただいています。が、どうしても複数ですので、その中でも特に順番を決めて一応要望はさせていただきますので、今の要望をいただいている地区もうちの方で把握しておりますので、すぐには出来ないかもしれないですけど予算の方も要望して、実際に金額も叩いてさせていただきますので、ちょっと順番はどうなるか分かりませんが、どうしても限られた予算の中です、団の方の装備もしやなあかんし、ポンプ庫の整備もしやなあかんというのは十分把握しておるんですけども、来年度はその辺に向けて要望はさせていただきますので、ご理解いただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

〔委員長〕

ありがとうございました。

〔番條委員〕

近頃は火を消すよりも、台風なんかの時の警防というか、それに出てもらうことが大変多いんだと思うんですけども、その割合がどのくらいかということと、うちの方では倒木で電柱が倒れるとか道を塞ぐとかいうことがあるんですけど、チェーンソーを使える人たちが若い者でだんだん減ってきているという中で、どのような研修をやっているのか教えてください。

〔消防救急課長〕

消防救急課の林です。引き続き今のご質問について回答させていただきますけど、台風も含めまして水害で災害が出そうだと、市の災害対策本部が立ち上がるという時はですね、団長が、当然市長の意向に左右されるんですけども、それに応じて出ていただいております。今年も台風が来る度にですね、各分団等を団長命で沢山の方が出ていただきましてですね、活動をしていただいております。あとチェーンソーの件ですけども、ちょうどこの8月にですね法令が変わりまして、チェーンソーの取り扱いとか装備の部分で法令が変わりましてですね、その対応をしておるんですけども、厳密にいきますと消防団の方はですね、装備なんかはそれに該当しないらしいんですが、実はそういうお仕事をされている分団長の方がいらっしゃるしまして、教えられる資格をお持ちの方がいらっしゃるしまして、チャップスとしましてカウボーイみたいな前だけ履くようなズボンをですね一部借用とうちでも一部購入しまして、先日ですねその取扱いの訓練を全分団集まっていたいただきまして、させていただきました。

〔番條委員〕

100名以上って言うてましたな。

〔消防救急課長〕

はい。うちの訓練場でですね、木も持ってきていただいて、実際にそのチェーンソーの取り扱いというのをですね、本来ですとうちの職員がしないとダメなんですけど、まず団の方が先にやっていただきまして、実際に台風なんかの時は団員の方の方がチェーンソーを使うのが多いということですね、させていただきまして、全部のチェーンソー45基ですかね、あるものを全部持ってきていただきまして取り扱い訓練はさせていただきました。それでその安全具の方もですね、順次予算要望していきながらですね、配備したいなというところで、予算要望はさせていただいております。それと取り扱いの教えられる指導者の方が団員の中でいらっしゃると思いますので、また計画的にですね、扱える方を養成していきたいなというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいなと思います。よろしく申し上げます。

〔委員長〕

ありがとうございました。どうですか他に？よろしいですか？

それでは無いようでございますので、これで終了したいと思います。長時間のご審議本当にありがとうございました。皆様の熱心な協議に心から感謝いたします。これをもちまして、令和元年度第1回の消防委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上